

英語科学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校

教諭 〇〇 〇〇

英語指導アシスタント 〇〇 〇〇

- 1 日時 平成30年10月〇日 (〇)
- 2 学年 第6学年〇組
- 3 単元名 We Can! ② Unit 4 「I like my town.」

4 単元の目標

- 地域にある施設やそのよさについて話したり聞いたりしようとする。
- 地域の施設やよさを紹介する文を、例を参考にして書こうとする。
- 他者に配慮しながら、地域のよさについて伝え合おうとする。

5 指導に当たって

本学級には、英語科の学習に意欲をもって取り組むことのできる児童が多く、5年生からの学習を通じて、英語の音を聞くことや発音することに慣れ、コミュニケーション活動を楽しむことができている。初めて聞く単語や表現についても、映像やその場の状況から想像力を働かせ、何を伝えようとしているのかを理解しようとする姿勢が育ってきた。また、日本語と英語との違いに興味をもち、言葉への気付きを見つけることのできる児童も多い。その気付きを、英語への学びや理解を深めるきっかけにできるよう、授業の中で児童にフィードバックするようにしている。

本単元は、これまでに学習した単語や表現を用いながら、自分の町の施設やそのよさを他者に紹介することを目標としている。授業を行うに当たっては、児童が自分たちの町のよさに目を向け、自信をもって他者に紹介できるようにしたいと考え、授業への意欲付けや、目標を達成するために必要なスキルの獲得・練習について、帯時間も使って計画を立て、以下のような工夫を取り入れた。

(1) 教材設定における工夫

ア 学校行事との関連付け

本校では6学年において、隔年で11月に学習発表会を実施している。この学習発表会では、テーマを「We love Hiroshima!」とし、これまでに社会科や言語・数理運用科等で学習してきた郷土広島のよさを発信する内容の発表を行うこととしている。

本単元では、自分の町にある施設について紹介するミニポスターを作成し、発表し合う活動を行う。そこで本単元の学習内容をこの学習発表会につなげるために、年間指導計画では1月実施としている本単元を、10月に扱うこととし、自分の町のよいところを見つけさせたいと考えた。

このことにかかり、本学年の児童は、9月にUnit 5「My Summer Vacation」でいろいろな施設の名称をすでに学習しており、引き続いて施設の名前を扱うことで、自信をもって発音できる言葉が増えると考えられる。また、7月にはWe Can! ① Unit 5で「～できる。(I can ～.)」という表現も扱っているので、その施設でできることを紹介する文を考える際に、学習した表現を用いることができると考えている。

なお、本来この単元の中では、自分の町にある施設だけでなく、町にない施設を見つけ、それがほしいと伝える表現も扱われているが、学習発表会のテーマに合わせて、町にある施設のよさの紹介に絞って扱うこととする。

イ 場面設定の工夫

ミニポスターを作るための動機付けとして、広島に来ている外国人の方にビデオレターで、自分のhome townを紹介してもらい、「広島について教えてほしい。」という投げかけをしてもらうことにした。

(2) 「慣れ親しむ活動」における指導の工夫

施設の名前やその紹介の仕方の表現に慣れさせ、自信をもって目あての活動に取り組めるよう、帯時間では、We Can! の音声教材（「Let's Listen」, 「Let's Watch and Think」）や、ひろしま型カリキュラムの英単語カード（動詞）を扱い、何度も繰り返し耳になじませ、発音させている。その際、言葉に気持ちをこめて発音する練習をさせるため、単語の発音練習では、自分の行きたい施設とそうでない施設で声の調子を変えるなど、条件をつけた反復練習も行っている。

(3) 「コミュニケーション活動」における指導の工夫

ア 目的・場面・状況の明確化

本時の「コミュニケーション活動」では、目あての活動を、外国の方に広島施設について紹介することとしていることから、児童の役割を「町の外から来た人（外国の方）」と「町に住んでいる人」に分け、会話練習をさせる。

イ 伝えたい内容をもつための指導の工夫

一人一人の児童が、自分の伝えたい内容をもつことができるよう、事前に行ったアンケートで出された施設の写真を掲示したり、前単元で学習したことを想起させたりする。

(4) 新学習指導要領の学習内容に関わる工夫

ア 文字を「書き写す」こと

「ふり返り」の時間に使用する振り返りカードに、英語を「書き写す」ことに慣れさせることをねらって、各時間の会話表現から一文を書き写すコーナーを設定し、音から文字への段階的な移行を図るようにしている。本単元では、ミニポスター作りをとおして単元目標の達成をねらっているため、まず伝えたい文章を音声でしっかりと馴染ませた後、例文に沿って書き写すという形で紹介文を書かせるようにする。

イ 音と文字の関連についての気付き

英語の音と文字の関連について児童の気付きを促すために、日々の英語科授業の中で、単語や会話表現の練習の際に文字と一緒に提示したり、その文字で始まる単語を見つけさせたりしている。

6 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

7 単元の評価の観点（評価規準）

ア ことばや文化に関すること	イ 聞くこと・話すこと
○ いろいろな国や地域にそれぞれのよさがあることに気付いている。	○ 自分の住む町にある施設についての紹介を、聞き取ったり伝えたりしようとしている。 ○ 相手の顔を見て聞いたり、明瞭な声で話したりしようとしている。

8 学習計画 (全4時間 本時2/4)

時	目標(◆)と主な活動(○)	◎評価<方法>
1 帯 時間 3 回	◆ 施設を表す英単語や、「～ができる」という表現がわかる。	◎ 英語の音をしっかりと聞いたり、明瞭な声で発音しようとしたりしている。<行動観察>
	○ 発音練習・カルタ取りゲーム 英単語カード 建物など(399～420) 自然など(425～429) ○ Let's Listen 1 / Let's Listen 2 / Let's Listen 3 (We Can! ②) ○ Let's Chant ○ Let's Play 3	
2 施設 の 紹介	◆ 自分の町にある施設やそのよさについて、たずね合うことができる。(本時)	◎ 町にある施設について、明瞭な声で尋ねたり答えたりしている。<行動観察>
	○ Let's Chant ○ 発音練習 施設の名前や、～ができるという表現を練習する。 ○ Let's Play 2 言った内容に合う絵を指す。 ○ インタビューゲーム 町にある施設や場所をたずね合う。	
3 帯 時間 3 回	◆ 自分の町の施設を紹介する文をつくることができる。	◎ 例文を参考にして、町にある施設を紹介する文を考えようとしている。<行動観察・ワークシート>
	○ Let's Watch and Think 1 / Let's Watch and Think 2 ○ 発音練習 英単語カード 動詞(467～500) ○ Activity 1 ○ Story Time ○ 町にある施設を紹介する文を考える。	
4 ポ ス タ ー 作 成	◆ 町にある施設や場所を紹介するミニポスターを作ることができる。	◎ 例文を参考に紹介文を書き写そうとしている。<行動観察・作品>
	○ Activity 2 ○ 町の紹介文を書き写し、ミニポスターを作る。 ○ 自分の作ったミニポスターを発表し合う。	

- 9 言語材料 単語リスト「建物など」「自然など」「動詞(1)～(3)」
Where do you live? / I live in ~.
We have ~. We can ~.
I like my town.

10 「英語で自己表現したくなるようなコミュニケーション活動」に向けた授業づくりの工夫

- (1) 教材設定における工夫
 - ア 学校行事との関連付け
 - イ 場面設定の工夫
- (2) 「慣れ親しむ活動」における指導の工夫
 - ・ 条件を付けた反復練習
- (3) 「コミュニケーション活動」における指導の工夫
 - ア 目的・場面・状況の明確化
 - イ 児童が伝えたい内容をもつための工夫

※ 11 指導過程 に番号で記載

11 指導過程

時間	児童の活動	指導者の活動と使用英語例 ◎評価<方法>		準備
		T1	T2	
1分	あいさつ ・ 英語であいさつをしたり，教師の質問に答えたりする。 Good afternoon, Mr./Ms.~. I'm fine, thank you. And you? It's(sunny).It's(Wednesday). It's ○○.	・ あいさつをして，気分や天気，曜日などをたずねる。 Good afternoon, everyone. How are you ? I'm fine, thank you. How's the weather today ? What time is it ? など	What day is it today ?	
4分	ウォーミングアップ ① サウンド・テニス ② Let's Chant ・ 音声に合わせて歌う。	・ 指定したアルファベットで始まる言葉探しをさせる。 ・ 音声教材を聞かせる。	・ 児童と交替で単語を言う。 ・ 児童と一緒に歌う。	音声教材 (We can !②)
10分	学習課題の提示 ・ 本時の学習課題を知る。 慣れ親しむ活動 ① 施設や自然の単語を確認し，発音練習をする。 工夫(2) ② Let's Play 2 をする。	・ T1,T2 が互いに自分の住む町にある施設を伝え合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">自分の町にある施設について伝え合おう</div> ・ 自分がよく行く施設とそうでない施設で声の調子を変えて発音させる。 ・ 教材をテレビで提示する。	・ T1,T2 が互いに自分の住む町にある施設を伝え合う。 ・ 発音練習をする。 ・ ポインティングさせるためのヒント文を読む。	単語カード 音声教材 (We can !②)
25分	コミュニケーション活動 ① 友達と，自分の好きな施設を伝え合う活動をする。 工夫(3) アイ ② 外国人の方からのメッセージを視聴する。 工夫(1) イ	・ 活動で用いる表現を確認する。 Where do you live? ~. I live in ~. We have ~. ・ 自分の好きな施設についてワークシートに記入させる。 ◎ 明瞭な声で相手のできることを尋ねたり，答えたりしている。<行動観察> ・ ビデオを提示し，児童が聞き取ったことを確認する。 ・ 次回は町の施設を紹介を紹介するミニポスター作りをすることを予告する。	・ 会話表現の発音練習をする。 ・ 児童の活動を支援する。 ・ 世界地図を指して補足説明をする。	ワークシート

5分	<p>ふり返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ふり返りカードに記入する。We have～.の一文を書き写す。 <p>あいさつ</p> <p>Good bye, Mr. / Ms. ～.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時のふり返りを発表させ、活動の評価をする。 <p>That's all for today.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ふり返りカードで書き写す英文について机間指導を行う。 <p>Good bye, everyone. See you.</p>	ワークシート
----	---	---	--	--------